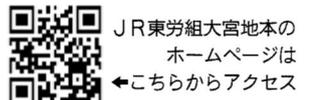




2025年9月1日 第295号

〒330-0853 埼玉県さいたま市大宮区錦町427
電話 048-643-6655 FAX 048-631-1441
J R T E L 054-5844・5 J R F A X 054-5846
email : omiya-chihon@jreu-omiya.jp
発行人 川澄 新一 編集人 小宮 裕幸



J R 東労組大宮地本の
ホームページは
←こちらからアクセス

東日本旅客鉄道労働組合 大宮地方本部

「2025 秋のたたかい」をスタート!!

【期間 2025年8月~12月】



2025年8月7日 第1回全支部代表者会議

～JR東労組大宮地本 2025秋のたたかい～

組織的課題

1. 組織強化・拡大のたたかいについて

- (1) 分会大会については全組合員参加型の分会大会を職場の実態に踏まえて創り出し、10月末までに開催します。
- (2) 組織拡大を勝ち取るために、各機関で組織拡大に特化した議論の場を創り出します。
- (3) 各地方、各職場の教訓的な組織拡大のたたかいを共有化し更なる組織拡大を勝ち取るため、「組織拡大PJ」を開催します。各支部・分会の「組織拡大PJ」の実態を踏まえた場を創り出します。
- (4) 「過半数労働者代表選PJ」を開催し、過半数代表選勝利を目指すたたかいを通じた組織強化・拡大を勝ち取ります。
- (5) 36協定締結以降の検証運動を通じた、組織強化・拡大をめざして「36検証会議」を適宜開催します。
- (6) 不当労働行為やパワーハラスメントに抗するたたかいを創り出します。

2. 安全風土再確立のたたかいについて

- (1) 「責任追及から原因究明へ」の職場風土を創り出すために、職場で発生している事故・事象を捉え返し、鉄道の安全について議論できる職場環境をめざします。
- (2) 原因究明委員会を開催し、事象に対しての原因と背後要因を正確に掴みだし、組織としての対策を確立します。
- (3) 「懲罰的日勤教育」を許さないたたかいを組合員と共に創り出します。

3. 憲法9条を守り広め、安全で安心して過ごせる社会を創造するたたかいについて

- (1) 地本主催8月平和集会(仮称)を開催します。
日時: 2025年8月30日(土)14:00～ 場所: さいたま市文化センター多目的ホール
- (2) 美世志会と共にえん罪のない、安心して過ごせる社会を創り出すため、本部主催「11・1集会(仮称)」に参加します。
- (3) 19行動をはじめとした平和を求める行動に積極的に参加し、連帯の輪を広げていきます。

業務的課題

1. 政策提言・施策検証会議の開催について

日時: 2025年9月23日(火) 10:00開場 10:30開始 場所: レイボックホール 集会室1

2. 年末手当のたたかいについて

- (1) 10月までに開催する分会大会や総対話で議論を深めていきます。
- (2) スケジュール感を持って、交渉報告集会や座談会の開催を目指します。
- (3) 地本としては山場の11月7日(金)に集会を予定しています。
* 12月14日(日)の全支部・全分会代表者会議で年末手当の総括と26春闘に向けたたたかいを議論します。

3. 各種施策について

- 「JR東日本グループの更なる飛躍に向けた新たな組織と働き方」について
- (1) 中央本部の団体交渉経過等を組合員と議論し、問題点を明確にし、要求実現に向けたたたかいを職場からつくり出します。
- (2) 10月以降、組織再編の地方提案・交渉に向けて不利益変更を許さないたたかいをつくり出します。

◆「組織再編・新たな人事賃金制度」交渉報告集会(仮称)

日時: 2025年 8月22日(金) 18:30～ 場所: レイボックホール(市民会館おおみや) 第1集会室

秋のたたかいで全職場からの実践にこだわり、組織強化・拡大を勝ち取ろう!!

始 点 論

異常気象ともいえるこの今年の夏は、戦後80年の節目の年という事で多くのメディア等で広島・長崎の平和式典、全国戦没者追悼式等が多くの時間を割いて伝えられている。

ロシアとウクライナの戦争は未だ終わりが見えず、ガザ地区ではイスラエルによる攻撃が増している。各国の為政者は政治的な終戦に向けての動きはあるが、自国の利益との関係において終戦合意には至っていないと感じてしまう。政治的に行われている外交でも戦禍では人命が失われ続けている状況を無視できない。

こうした事態は、国際社会が過去の悲惨な歴史から得た教訓を無にすると同時に、これまで築き上げてきた平和構築のための枠組みを大きく揺るがすものだと訴えている。

戦後制定された日本国憲法は、憲法の前文とともに三大原理の一つである平和主義を規定し、「戦争の放棄」「戦力の不保持」「交戦権の否認」の3つの規範的要素から構成されている。「この憲法を守る事が私達と子供達の生活と生命(いのち)を守る事である。」

戦後 80 年の 節目の年に 平和な社会と 安全な職場を 創り出そう!!

広島市の松井市長は、平和宣言の中で「米国とロシアが世界の核弾頭の約9割を保有し続け、またロシアによるウクライナ侵攻や混乱を極める中東情勢を背景に、世界中で軍備増強の動きが加速しています。各

業務用携帯電話の取扱い誤り「お客さま対応での不適切な取扱い」「特殊信号発光機の動作を認め停車後、独断で運転を再開した事象」「駅で発生した私金補填」「指令員が異線現示してしまつた事象をつるし上げるような事象」「運輸区で車掌指導員が私服で添乗し勝手

に線路に降りた事象」「勤務作成のミスによつて副長が出勤遅延」などの事象は氷山の一角であり、まだまだ埋もれている事象もあるのではないかと。

職場の事情聴取では「ルールを守れ」と指導している副長や指導員自らがルールを破り、周りから指摘をされても、反省するどころか、言い訳開き直り・隠蔽のような有様も耳にしている。

まさに「JR福知山線脱線事故前夜」以上の状態になっている、という危機感しかない。経営陣は「仕事の本質」と「想定外を先取る」としているが、個人の問題とされ、基本動作の徹底、凡事徹底、最後には決意文を書かせる等といったことは、安全管理を通じた労務管理の強化である。

職場では「融合と連携」を通じて安全が軽視されている。今こそ、安全な職場を創るため、労働組合が働く者の立場から、ものを申し、お客さまが安心して利用できる鉄道を創り出そう。

先日、「生きる」という東日本大震災において多くの被害を生み出した大川小学校の裁判記録を描いた映画を鑑賞した。

事前の遺族への説明の際に、市長が「天災による事故は宿命である」と話したり、説明している職員に上席が口を指を当て発言を止めるように指示したり、数少ない生存した小学生が、死亡した児童が「山に上つた方が安全だ」と泣きながら訴えた発言を封殺したり、生存した先生が校長に送つたメールをすぐ消去したり等、当時の衝撃の事実を知る事ができた。

8月期退職者激励会

大変お疲れさまでした (敬称略)

中田 栄一

宮総支部・計画科



8月22日大宮地本会議室

カンテラ

「生きる」という東日本大震災において多くの被害を生み出した大川小学校の裁判記録を描いた映画を鑑賞した。

事前の遺族への説明の際に、市長が「天災による事故は宿命である」と話したり、説明している職員に上席が口を指を当て発言を止めるように指示したり、数少ない生存した小学生が、死亡した児童が「山に上つた方が安全だ」と泣きながら訴えた発言を封殺したり、生存した先生が校長に送つたメールをすぐ消去したり等、当時の衝撃の事実を知る事ができた。

同時に、今たかひの最中にある、不当労働行為に対する会社姿勢と同質の内容だと感じた。都合の悪いことは隠す。社員が苦しんでいても関係ない、という態度。勇気を持って真実を訴えても「聞いていない」という姿勢。そして、受け止めて改善する態度を見せない。「生きる」に出ていた遺族たちは、金の問題ではなく、「自分たちの子供の真相を知りたい」「二度と同じ思いをする人を出したくない」という思いで、殺害予告までされながらも立ち上がった。不当労働行為のたかひも、真相を究明し、二度と同じ思いをする仲間を出さないため、会社姿勢の是正を求めて全力でたかひを抜く。

面談で会社に向き合った仲間の思いに立つということとは、たかひを広めることである。そして、この会社姿勢を正し、安心して働ける職場の実現に向けて、さらなる組織強化・拡大を実現しよう! (U・T)

各支部で定期大会を開催!! 運動の成果を確認し、新たなたたかいに向けた体制を確立!! さらなる組織強化・拡大に向けて共にたたかおう!! その①

宇都宮支部

7月19日、宇都宮駅大会議室にて第40回定期大会を開催しました。

今大会では、組合員の実践を勝ち取ることを課題とし、質疑では系統を越え10名の代議員が発言しました。組織拡大については、運動の存在意義を感じてもらおう事にこだわり、レクや集会を通して関わりを創り出した成果がある一方、踏み込む事への課題等も出されました。過半数代表者選挙では、5つの分会から勝利した成果について発言があり、会社や社友会に対する不信任や過半数代表の意義を広めた実践が勝利に結果し、組織強化・拡大に繋げる決意が語られました。会社施策については事前の連絡や説明がなく職場が混乱している事への怒りや、エルダーからは政治意識の重要性について発言がありました。



7月19日 宇都宮駅大会議室

三役体制

執行委員長	日笠 将幸
執行副委員長	柴田 誠一
執行副委員長	金杉 充
執行副委員長	鈴木 孝洋
書記長	関 孝介

大宮支部

7月27日、さいたま市文化センターにて第41回定期大会を開催しました。5名の代議員が発言し、組織拡大を実現した職場での実践や組織運動の教訓を共有しました。また、過半数代表者選挙における成果と東労組の存在意義、働き方や職場の形が変わったことで現れている弊害についても発言され、安全で働きやすい職場を私たちがつくることを確認しました。

参加者からは、「他職場の実態を聞いて施策の失敗が現場が背負わされていると感じた」「職場の問題と向き合い議論を深めたい」「再加入のために組合員に働きかけることが私の使命等の感想が出され、代議員と傍聴が一体となり大会を創り上げる事ができました。今大会を節目に、大宮支部は浦和支部・支社支部と共にさいたま地域支部を結成する事となりました。大宮支部が積み上げてきた成果を今後の運動に活かし、新たな支部運動を全組合員で推し進めます。



7月27日 さいたま市文化センター



浦和支部

7月27日、さいたま市文化センターにて第26回定期大会を開催し、全参加者で一年間の運動の成果を確認しました。

発言では、「過半数代表者選挙勝利を勝ち取るたたかい」「総対話行動貫徹に向けた成果と課題」「仲間への関わりを通じた加入・再加入の取り組み」「ダイヤ改正の問題点克服のたたかい」「安全問題」「統括センター化による営業施策の弊害」「組合費に対する切実な意見」等、職場活動の実践と苦悩が出され、全体で共有する事が出来ました。

浦和支部単独での大会は今回で一旦休止となりますが、あらゆるハラスメント・不当労働行為を断固として許さず、全分会と共に全てのたたかいを再加入へと繋げる事を意思統一し、その後開催された「さいたま地域支部結成大会」の成功へと弾みをつける大会を参加者全員で創り出しました。



7月27日 さいたま市文化センター

宮総支部

7月25日に第2・3・4講習室において、大宮総合車両センター支部第39回定期大会を開催し、一年間のたたかいの成果を確認し、4名の代議員から発言で運動方針に肉付けをして頂きました。

地本主催の研修に参加して感じた事や、会社施策・職場の業務問題について、傷害事象や会社施策の団体交渉に参加して、自身の実践を中心に代議員から発言を頂き、安全で安心して働くことのできる職場を守るためには労働組合が必要であること、施策実施を強行しようとする会社姿勢に立ち向かうには組織強化・拡大が必要なることを参加者全員で確認することが出来ました。

大会発言で出された諸問題の解決に向けて、当該分会や大宮地本などとも協力しながら、「安全・健康・ゆとり・働きがい」がある検修職場を組合員と共に創り出していきます。



7月25日 第2・3・4講習室

三役体制

執行委員長	宮尾 真悟
執行副委員長	小泉 将吾
書記長	片桐 朋希

各支部で定期大会を開催!! 運動の成果を確認し、新たな戦いに向けた体制を確立!! さらなる組織強化・拡大に向けて共にたたかおう!! その②

支社支部

大宮支社支部は7月30日に第3回定期総会を地本会議室にて開催しました。

私たちは今定期総会にて大宮支社支部を解消し、結成総会で新たに大宮支社分會を結成し、さいたま地域支部の一員としてJR東労組運動を担っていく事を確認しました。

組合員との意見交換では、組織再編やDXの業務で苦勞していることや、セカンドキャリアスタッフ制度に対する不安点等が多く出されました。出された意見を踏まえ、今後の改善に向けて議論を進めていきます。

私たちはこれまで支社支部で培ってきたものを引き継ぎ、しっかりと今後の分會運動に繋げる事で、大宮支社分會の組織強化・拡大に向け、執行部一丸となつてたたかいを進めていきます。また、さいたま地域支部内の他分會とも交流を深めていきます。



7月30日 地本会議室

三役体制(大宮支社分會)

執行委員長 杉本 博輝
執行副委員長 小林 修
書記長 山下 大輔

さいたま地域支部

7月27日、さいたま市文化センターにおいて、さいたま地域支部結成大会を開催しました。さいたま地域支部は大宮・浦和・支社支部が一つになって、454名の組合員で結成した新たな支部です。

代議員の発言では不当労働行為に抗するたたかいや組織拡大を成し遂げた取り組みの教訓、分會として真摯に職場の課題と向き合ってきた実践などが共有され、施策の弊害やハラスメントに苦しむ仲間をこれ以上生み出さないために、さいたまの地からたたかいを前進させることを意思統一しました。

また、私たちの力の源である団結力を一層強固なものとするため、さらなる組織拡大に向けて全組合員一丸となって取り組むことを確認して、結成大会は成功裡に終了しました。

大会終了後のレセプションでは、新たに同じ支部でたたかいを推し進めていく仲間に加えて、来賓の皆様もご参加いただき、懇親を深めることができました。新たに発足したさいたま地域支部から全組合員一体となり、さらなる組織強化・拡大に向けて全力でたたかいを創り出していきます。



7月27日 さいたま市文化センター

三役体制

執行委員長 千葉 直樹
執行副委員長 大室 元信
執行副委員長 千葉 大輔
執行副委員長 高橋 建太
執行副委員長 杉本 健太
書記長 根岸 賢一

無料

法律相談

□ 9月 9日(火)

□ 10月 14日(火)

場所：大宮地本
会議室

相談日の5日前までに、地本又は各支部へ連絡して下さい。

お気軽に相談を!

日にち:2025年9月28日(日)

時間:13:00開始

場所:浦和コミュニティセンター
第7集会室

仲間と共に結集し、組織強化・拡大に向けて青年部からたたかいを創り出そう!!



JR東労組大宮地本青年部
第26回定期委員会を開催します!

01-mail
大宮地本青年部

JR積立年金新規加入募集中!!

募集期間:10月1日~31日

●月払 3,000円~(1口1,000円)

●半年払 10,000円~

●一時払100,000円~

問合せは(株)鉄道ファミリー

03-3490-3862まで

